

獣害対策忌避製品

既設の構造物に設置、施工できる新しいタイプの獣害対策忌避製品

近年、森林や農作物、交通などといった生活圏において野生動物による様々な被害や障害が発生しています。

本製品は特定の場所に設置することで周辺における動物の往来を抑止し、被害や障害を減少させることを目的とした製品を研究、開発しています。

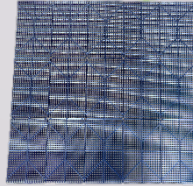
製品ラインナップ

忌避製品は様々なシチュエーションに対応できるよう、多数ラインナップを用意しております。

塗料



ネット



マット



被覆鉄線



スパイラル



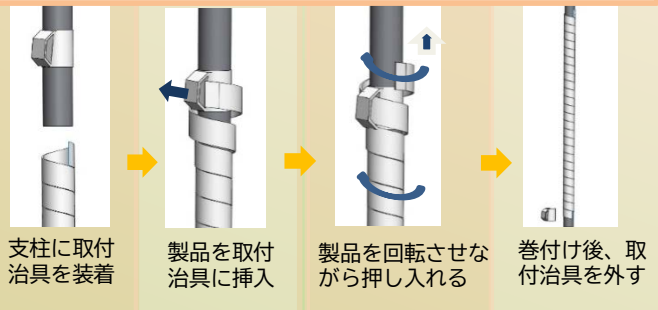
従来忌避剤との違い

現在までにおける忌避剤の多くは、散布するものが主流となっています。

散布型の場合、散布直後には効果が期待される一方、雨や風などの荒天時に忌避成分が流出する可能性があり、長期における忌避効果が期待できません。

本製品は樹脂に忌避成分を添加し、固めることにより、荒天時における成分の流出を最小限に抑えるとともに、樹脂が保有する対候性により長期間の効果が期待できます。

スパイラルタイプの設置方法（支柱の場合）



特 徴

- 1 ベース材に樹脂を使用。
↳ 耐久性を有するため、荒天時における忌避成分の流出を抑えます。
- 2 忌避成分はカプサイシンや木タールなどの自然由来の材料を使用。
↳ 人体や環境にやさしい忌避効果を発揮します。
↳ 産業廃棄物として処理される木タールを活用することで、自然環境にも配慮した製品となります。
- 3 既設の構造物に取付、塗布が可能。
↳ 侵入防止柵などとの併用による2重対策や損傷か所の対策として。
↳ 高い位置に設置できるため、積雪の多い地域でも効果が期待できます。
- 4 取付、塗布が簡単。
↳ 特殊な工具を必要としないため、誰でも簡単に取付、塗布が可能。

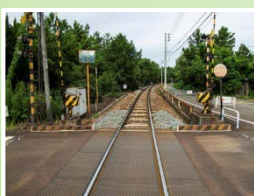
施工場所（一例）



侵入防止柵



フェンス



線路や周辺の構造物

施工イメージ



フェンスへの取付



コンクリートへの塗布



侵入防止柵への取付



柵の開口部への設置



ワイヤーロープへの巻付け
(理研スピンドル®を使用)

本製品は現在、（一社）北海道開発技術センターと共同研究にて開発中の製品となります。パンフレットに記載されている内容は開発中の内容であるため、販売時と内容が異なる可能性があります。詳細につきましては当社までお問い合わせください。

仕 様

項目	仕様
主 材	ポリエチレン（塗料はポリウレタン）
忌避成分	カプサイシン、木タールなどの自然由来成分
適用範囲	屋外（柵、フェンス、鋼材等の既設構造物）

SDGsに基づく防災レジリエンス商品
【持続可能な開発目標（SDGs）ターゲット】



弊社は道路の交通安全対策製品メーカーとして
「3.6 道路交通事故死傷者を半減させる」
「11.2 交通の安全性改善により、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する」
をターゲットにして製品開発に取り組んでいます。



理研興業
ホームページ



理研興業
Youtubeチャンネル